

令和2年度 第2回さいたま市がん対策推進協議会（書面会議） 会議録

- ◎ 開催期間 令和3年1月25日（月）から2月5日（金）まで

- ◎ 出席者 安藤委員、遠藤委員、大竹委員、窪地委員（会長）、小坂委員、小山委員
角田委員、野田委員、浜野委員、平川委員、松田委員、松本委員
三塩委員、森委員、横田委員

- ◎ 資料
 - ・ 次第
 - ・ さいたま市がん対策推進協議会委員名簿
 - ・ さいたま市がん対策推進協議会規則
 - ・ 令和2年度第2回さいたま市がん対策推進協議会 要旨
 - ・ 資料1 さいたま市がん対策推進計画 中間報告シート
 - ・ 資料2 令和元年度各団体取組シート
 - ・ 参考資料1 さいたま市がん対策推進計画 施策の体系図
 - ・ 参考資料2 がん教育出前講座実施報告書
 - ・ 参考資料3 禁煙外来リスト
 - ・ 参考資料4 さいたま市がん対策推進講演会実施内容（H29・H30）
 - ・ 参考資料5 市ホームページ画面（がんページ）
 - ・ 参考資料6 がん患者さんの就労相談窓口一覧

1 議事

会長選出

<説明>

本協議会は、昨年10月に委員改選を行い、今回は改選後初の協議会となります。本来であれば、対面による会議の場で会長選出を行いますが、新型コロナウイルスの影響により、急遽書面会議へ変更したため、今回の協議会につきましては、前任期まで会長であった「さいたま市立病院 窪地 淳 名誉院長／経営戦略特命参与」に臨時で会長をお願いしたいと考えております。

なお、正式な会長選出につきましては、次回の協議会の場で行います。

議事会長選出について、 異議なし 15人、異議あり 0人

2 報告

(1) さいたま市がん対策推進計画の中間報告について

- ・資料1 さいたま市がん対策推進計画 中間報告シート
- ・資料2 令和元年度各団体取組シート
- ・参考資料1 さいたま市がん対策推進計画 施策の体系図
- ・参考資料2 がん教育出前講座実施報告書
- ・参考資料3 禁煙外来リスト
- ・参考資料4 さいたま市がん対策推進講演会実施内容 (H29・H30)
- ・参考資料5 市ホームページ画面 (がんページ)
- ・参考資料6 がん患者さんの就労相談窓口一覧

<説明>

参考資料1は、さいたま市がん対策推進計画の施策の体系図となっており、本計画は基本方針に沿って、目標及び分野別施策を掲げています。また、分野別施策として掲げた項目に広く関わる3つの施策(参考資料1太枠内)を重点的な取組として掲げ、これらを中心に施策の展開を図ります。

資料1は、さいたま市がん対策推進計画の中間報告シートとなっており、計画当初の平成28年度実績と、現時点の実績として令和元年度実績を比較して掲載しています。掲載内容として、各委員が所属している団体の取組や、庁内関係課の取組、計画の目標指標(計画書のP76~P79参照)、分野別施策毎の実績、今後の方向性をまとめて掲載しています。

資料2は、各委員が所属している団体の取組、庁内関係課の取組をまとめたものとなっており、前回の協議会でも資料として配布させていただきました。資料1に掲載している「取

組状況（令和元年度時点、一部抜粋）」については、資料2の各団体の取組の中から抜粋したものとなります。

資料1に赤字で参考資料2～6と掲載しています。別紙の参考資料2～6は資料1赤字記載のものとリンクしています。

各委員や庁内関係課の取組実績については、毎年2月末頃に照会の通知を送付させていただき、御回答いただいています。令和2年度の取組実績についても、今年度2月末に照会の通知を送付させていただき、御回答いただいたものを資料2のような各団体取組シートとしてまとめます。

以下の計画における目標の達成状況を把握し、計画の評価及び次期計画の策定に反映させるため、5年に1度の市民調査として、令和3年度に「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」を実施します。本計画では、分野別施策の「がんに関する正しい知識の普及」「受動喫煙の防止と禁煙」の目標指標が調査結果の反映箇所となっています。

- ・さいたま市ヘルスプラン2 1（第2次）（平成24年3月策定）
- ・さいたま市歯科口腔保健推進計画（平成27年3月策定）
- ・さいたま市がん対策推進計画（平成28年3月策定）
- ・第2次さいたま市自殺対策推進計画（平成29年3月策定）
- ・第3次さいたま市食育推進計画（平成30年3月策定）

本計画は平成28年度から令和5年度までの計画期間となっており、令和元年度までが計画の中間となります。そのため、今回改めて計画当初からこれまでの実績や目標指標の達成状況、今後の方向性等について御確認いただくものとなっています。

報告（1）についての御意見（名簿順）

<安藤委員>

がん検診の受診率向上については、全く成果が得られていないようです。全国的に同じ傾向だと思いますが、それでも自治体によっては優良事例があるはずで、情報を収集し、お手本にできるかどうかの検討をしてみてもどうでしょうか。精密検査についても同様ですが、唯一胃がん検診が良好な数字をあげている理由について検証を行い、他のがんに応用できるかどうかの検討も有用かもしれません。

さいたま市には三つのがん拠点病院の他に、準ずる医療機関として三つの指定病院があります。この三病院についても担っていただいている役割について報告していただいたほうががん対策推進計画を評価する上で有用なのではないでしょうか。

<大竹委員>

資料1中間報告シート。事務当局でよく取りまとめて頂きましてありがとうございます。がん予防と早期発見の推進は、受診しやすくしては如何でしょうか。

例）健康保険で受診。例えば保険で受診が出来なければ会社等（企業）で一部負担するように

しては如何でしょうか。

受診者を多くするため、がんにかかった人、経験者の短時間スピーチ、講演。

今後の方向性。がん対策推進には【種別】ごとに紙媒体等で周知等し、幅広い情報の提供をして多くの市民に情報を提供して下さい。

<窪地委員>

さいたま市がん対策推進計画に基づいたがん対策推進協議会が平成 26 年度に立ち上げられて以来、議論を重ねてきた結果、がん教育、予防、がん検診、がん患者さんへの就労支援、がん終末期の患者支援などへの重要性が徐々に理解され、各団体の活動に結び付いてきている実態が各団体取組シートから見受けられる。

しかし、活動の評価指標への改善には、十分反映しているとは言えない現状にあり、今後は、評価指標の動向を一連のものとして整理し、効果的に主旨が伝わるような市民への広報活動にする必要があるものとする。また、市立学校でのがん教育への取組が始まっているが、評価指標の改善には各世代を超えたがん教育が非常に大切であり、がんに対する意識改革の根底にあると考えられるだけに、根気強い更なる講演会活動、教育が今後も協議会の議論すべき重要な柱になるものと考えている。

<小坂委員>

さいたま市がん対策推進計画及び複数の資料を講読。当地の現状及びがん医療の知識、言葉を学んだ。知識不足を痛感するもがんの系統だった認識度強化を実行するつもりである。

資料より当市のがん対策が他所と比べて勝っていないことを知った。

自分の身は自分で守る意識を全員が持たないと対策推進は進まない。

現在のコロナ禍を強く認識して行動する必要性を感じている。

<小山委員>

本年より参加させていただきます。よろしくお願ひ致します。

さいたま市内で様々なことが行われていることを知りました。積極的に情報を取りにいかないと分からないことも多いので、患者（診断された方）に、主治医など医療者から渡せるような情報があると良いと感じます。たくさんの方に情報が届きますように。

<角田委員>

さいたま市歯科医師会としては、市民の皆様へ口腔がんの正しい知識をお知らせしたいと思っております。また、口腔がんは、かかりつけ歯科医で発見されることが多いです。かかりつけ歯科医は、口腔がんを早期発見するには粘膜疾患に疑いの目をもって見なくてはなりません。そして、専門機関に紹介できることが重要です。歯科医師の研修も重要と思っております。

<野田委員>

薬局・病院の在り方として、がんに対する連携に対し、多くの指摘がされるようになりまし

た。薬剤師業界でも同様の事がいわれており、病院と薬局できちんと連携をとって、さいたま市の住民・患者がどこの病院に行っても、どこの薬局に行っても、同じようにサポートを受けられるような、ハードの仕組みを作ろうとしています。

そして、昨年(2021)の10月14日、「さいたま地域連携 Network」という組織を薬剤師会内に作り、正に今、連携の仕組みを構築している段階です。使用されている文書の統一化を含め、薬機法改正に基づいた質の高いがん医療を提供するため、引き続き尽力致します。

<浜野委員>

現状、コロナの影響がありウィッグ提供はありません。以前とは状況は違いますが、呼びかけ等は今後もやっていきたいと思えます。

<平川委員>

浦和区役所の幼稚園、小学校における保護者を対象とした講演会実施後、アンケートの満足度が90%以上であったことは、有益だったと思えます。

(P23) 教職員向けの講演会は、自分も出席させていただきましたが、がん教育を進めることは、学校ではむずかしいと思っていたであろう教員の心を大きくうごかし、モチベーションを高めたと感じました。けれども、この一年は、新型コロナウイルス感染の予防・対策に追われ、授業時数の確保がむずかしかったと拝察します。

学校においては、がん教育の具体的な実施のモデルプランのようなものを作成するのもよいのではないかと考えます。

<松田委員>

令和2年度取組実績は新型コロナウイルス感染症による影響を受けている。(イベントの中止、研修の中止・縮小、非対面形式等)そのため、元年度中間評価(資料1)の一部分に「3年度市民調査の結果から判定」としている部分に影響がどのように及ぶか懸念される。

<三塩委員>

コロナ禍で、事業縮小しながら実施しています。

<森委員>

資料1, 2ともに精力的に行われていると思えます。コロナ禍の参考資料6と講演会が聞けないこともあるかと思えますが、多方向からがん対策を講じて下さい。

<横田委員>

いくつかの点(年齢調整死亡率の改善、在宅看取りの増加等)で、進歩がみられる点は素晴らしいと思えます。

検診に関しては課題が残されているのですね。

事務局より

がん検診の受診率向上を図るため、他自治体の取組を参考にするとともに、周知についても啓発品の配布、市ホームページへの掲載に加え、企業との連携による周知活動等を検討してまいります。

各団体の取組と評価指標につきましては、今後連動するように、効果的な広報を研究してまいります。

令和2年度から、若い世代に向けてがんに関する基本的な情報や、がん予防、検診の大切さ等を伝えるため、医師や看護師、がん経験者を講師として学校に派遣し、学生や教員、保護者等を対象にした「がん教育出前講座」を開始しました。今後も引き続き、様々なニーズに対応できるよう改善を重ね、がん教育や講演会等を実施してまいります。

計画の進行管理をより充実させるため、市内の地域がん診療連携拠点病院に加え、埼玉県がん診療指定病院の取組等を進行管理に反映してまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度の取組の多くは中止や縮小等の対応せざるを得ない状況でした。来年度以降は感染対策を行いながら、若年がん患者への支援や、がん教育等の取組を実施してまいります。

(2) さいたま市がん対策推進講演会の開催について

<説明>

健康増進課では、平成28年度から毎年市民や医療関係者等を対象にした講演会を開催しています。昨年度は11月にアピアランスケアに関する講演会を開催しましたが、昨年度3月に開催を予定していた就労支援に関する講演会は新型コロナウイルスの影響により中止となっています。

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、講演会を対面で実施するか、又は、オンライン等による非接触形式で実施するかで検討しています。

講演会の内容として、コロナ禍でも安心してがん治療を受けるために、病院や薬局の役割や利活用の方法がテーマとなります。また、講師として、埼玉県立がんセンターの感染管理室長代理 消化器外科 副部長 福田 俊 様と、さいたま市薬剤師会 副会長であり、さいたま市がん対策推進協議会委員の野田 政充 様にご講演いただきます。

報告（２）についての御意見（名簿順）

<安藤委員>

コロナ禍による受診抑制で、がんの診断・治療の遅れが危惧されていることから、なるべく早い時期に開催していただきたいと考えます。

<大竹委員>

体験者対象の人の（がん種別ごと）講演会を希望します。現在２人に１人ががんになっていることの自覚と認識をもつような講演会を開催しては如何でしょうか。

<窪地委員>

協議会活動の重要なものであり、これからも講演会を通して情報提供の場を作るべきと考える。

<小坂委員>

過去の講演会実施は認識したが、参加者数が少ないことも一目瞭然。しかしながら、動員は困難。Youtube 等の利用でリモート視聴を提言したい。がんの学習は全てに勝る手段と信じている。

<小山委員>

内容とても興味があります。開催方法はともかくとして、是非開催をお願いします。

<野田委員>

このような機会を多く作ることは非常に有益であると考えます。精一杯尽力致します。

<平川委員>

“がんは怖い”という印象だけが残る内容でよいのか否か、個人的には検討する必要があると思います。→怖いから検診をうけるという結果につながると思いますが。

<松田委員>

感染リスクを考慮し、オンライン開催が望ましい。多くの市民に参加いただけるよう PR 方法を検討されたい。

<松本委員>

講演会については、オンライン等による非接触形式での開催がよいと思います。また、当日視聴できない場合でも後日、市役所ホームページ等で録画を視聴できる、要旨が読めるなどできるとよいと思います。

<横田委員>

良いと思います。

事務局より

今後の講演会の開催については、新型コロナウイルスの感染状況や社会のニーズも踏まえ、YouTube等を活用したオンライン形式による開催等、様々な開催方法を検討してまいります。

講演会のテーマについては、委員の皆様の御意見や、市民からの要望、社会情勢等を踏まえて、検討してまいります。